

共栄小学校いじめ防止基本方針

本校児童の実態

- 本校は副都心に近く、公園も多く、落ち着いた住宅街である。マンションも多くあり、道内外からの転勤家族も多く居住している。そのため、転入学児童もすぐに受け入れる気質をもっている。
- めざす子どもの姿「げんき かがやき 笑顔いっぱい」を児童・教職員・保護者・地域で共有し、子どもの健やかな成長を、日々育んでいる。
- 個別に支援が必要な児童が増えつつある。家庭やスクールカウンセラー・関係機関と連携して対応するケースが多くなっている。

本校のいじめ対応の実態

- 「いじめの未然防止」を根幹にすえた授業づくり・学級集団づくり。
- 子どもの小さな変化にいち早く気付ける教職員の危機管理意識向上。
- 違和感を感じたときの行動力。
- 「校内学びの支援員会」を中心にした迅速・適切な対応。
- 子どもの実態把握をもとにした面談や相談など、組織的な対策の構築。

	重点的・具体的な取組	行動計画・行動目標	中心となる職員
未 然 防 止	○学ぶ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、意欲的に学び続ける授業づくり ・相手意識に立ち、言語を大切にした全員参加の授業づくり・学級づくり ・学習規律を育み、ばかにする、ひやかすなどのいじめを生む態度や言葉については即刻指導 ・創造的で落ち着いた学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務 ・研究部 ・各担任
	○豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい雰囲気学の学級づくり ・命を大切にする指導の徹底 ・問題を自分事としてとらえ、日常生活にいかす「考え、議論する」道徳の推進 ・異学年交流における相手意識や思いやりの心の醸成 ・「3つの“あ”（挨拶・後片付け・相手意識）」の推進 ・自己肯定感、自己有用感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務 ・学年学級経営部 ・児童活動部 ・各担任
	○健やかな身体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「元気タイム」や外遊びの推進 ・保健指導、性に関する指導、食に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・共栄プロジェクト ・学年学級経営部
	○信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の徹底と自ら命を守る子どもを育てる ・家庭、地域との連携・情報交換に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭 ・共栄プロジェクト

早期発見	○子どものよさや困りを捉える	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な見取りを大切にし、学年研修や校内学びの支援委員会で情報を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーター ・各担任
	○実態調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活についてのアンケートの実施（記名式） ・教育委員会による「悩みいじめ調査」 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーター ・各担任
	○日常のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の玄関での児童とのふれあい ・連絡無く欠席した児童の家庭には、朝のうちに必ず連絡を取り、放課後にも電話連絡を入れる ・授業時間、休み時間の子どもの様子の見取り ・変わった様子が見られる児童への声掛け ・保健室での養護教諭と児童の何気ない会話から、児童の心の内面を見取り、担任と共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職 ・養護教諭 ・各担任
	○教育相談の重視	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との個人懇談 ・スクールカウンセラーとのカウンセリングのすすめ（保護者・児童） ・児童との個別面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任 ・特別支援コーディネーター ・SC
いじめへの対応	○組織で対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめてよい理由などない」ことを徹底する ・いじめを発見したら過小評価せずに管理職や学びの支援委員会に相談する ・特定の教員で抱え込まず組織で対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職 ・各担任 ・学びの支援委員会
	○初期対応・事実確認を的確にする	<ul style="list-style-type: none"> ・事実確認を的確に行う ・いじめがあった場合、保護者に把握した事実と対応をその日のうちに連絡する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任 ・管理職 ・学びの支援委員会
	○被害児童への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保（休み時間等見守り） ・SCとの連携 ・被害児童に寄り添い、心のケアに努める ・学級、学年指導を本人及び保護者の了解のもと行い、より良い集団づくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任 ・管理職 ・学びの支援委員会
	○加害児童への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・被害児童の気持ちを理解させ、本人のいじめの背後にある要因を把握し、保護者と連携しながら継続的に全教職員で支援する ・必要に応じて警察と連携し対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任 ・管理職 ・学びの支援委員会
	○いじめの対応の振り返りの重視	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のいじめの対応事例を中心として児童理解研修会を開催 ・いじめのあった学級、学年への細かな見取りと配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任 ・管理職 ・学びの支援委員会